

メンバー、ボランティア、学生  
みんな仲間!

令和元年6月号

# けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」

令和元年6月1日(第170号)

## ～第1回千葉市精神障害者卓球大会～5月12日(日)千葉市ハーモニープラザにて

学校の体育の授業以来だったのでうん十年ぶりだったが、久々にやってみると案外面白くて、夢中になってしまった。結果は惨敗だったが、来年は一勝くらいできるように少し練習して挑みたいと思った。

こういう楽しい場を作ってくれた運営のスタッフさん、ボランティアさんたちに感謝しています。ありがとうございました。(Aさん)

とても楽しく、規律のある大会だった。女子の部で優勝できたが、2試合とも、初めは緊張のあまりガチガチだった。(Bさん)

一試合で負けたが、ワンセットを取れて良かった。中学時代卓球部で、ボコボコに負けたことのトラウマが払拭された。授与式の時、なかなか名前を呼ばれずに、「自分だけがメダルを貰えないのか」と思っていた。それが、最後の最後に名前を呼ばれて、メダルを手にした時には、嬉しくて嬉しくて、万歳みたいなパフォーマンスをしてしまった。後で考えたらちょっと恥ずかしかった。(Cさん)

硬式野球、学生競技クイズなどに挑んできた僕にとってファイナリストの冠はメダルよりも重いです。僕の精神の暗闇に明かりを灯してくださった皆様に感謝しております。(Dさん)

けやきと仲間からは男性6名女性2名が参加しました。そして、Bさん、Dさんが優勝しました。他の参加者もそれぞれ競り合う場面も見られたりして、真剣そのものでした。楽しかったという一言に尽きる大会でした。



真剣そのもの



金メダル



疲れました

～ 実習生と一緒にバーベキュー大会 ～ 4月26日（金）青葉の森にて



雨のち曇り



川柳

ママチャリで七百キロの里帰り

連休は皆勤賞でデートした

亡き友の足跡追えば鮎子丸

真似て喰う鰯のにぎりひとすじだ

バス旅行成田か羽田押し通す

旅行の日行けない予感うつになり

上原のボロボロ泣きで惚れ直す

幻聴をポリウム上げてやつける

実習中むしろ私がハッピーに

話すこと自分の体のバロメーター

いつの間に教える立場が入れ替わり

寒すぎて火で暖をとる春なのに

支えあい繋がりあって生きる街

雨の中赤い上着がうれしくて

阿賀

岡田

辻野

柴田

長谷川

古瀬

プログラム紹介 「書」 5月17日（金）

「絆」



今、書きたい一文字

「夔」

